

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	服飾造形科	夜・通信	365 時間	80×2=160 時間	
	アパレル技術科	夜・通信	2880 時間	80×3=240 時間	
	ファッションビジネス科	夜・通信	280 時間	80×2=160 時間	
	高度アパレル専門科	夜・通信	2895 時間	80×4=320 時間	
	アパレルデザイン科	夜・通信	585 時間	80×1=80 時間	
(備考) ※ファッションビジネス科は2025年度より募集停止のため、2025年度実施の2年生分のみの授業時間数です。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/teacher/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/teacher/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/facility/organization.html">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/facility/organization.html</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	専門学校 校長 株式会社 代表取締役	2025年6月24日 ～ 2028年6月 定時評議員会	ドレスメーカー学院 の教学面の管理運営
非常勤	元私立大学 副学長	2025年6月24日 ～ 2028年6月 定時評議員会	大学・ドレスメーカー 学院の教学面の管 理運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>服飾造形科(2年制) アパレル技術科(3年制) ファッションビジネス科(2年制)(※ファッションビジネス科については、令和7年度より募集停止としているため現在2年生のみが在籍となる。) 高度アパレル専門科(4年制) アパレルデザイン科(進学クラス1年制)</p> <p>【作成について】</p> <p>授業計画(シラバス)は授業科目ごとに担当する全教員が学院所定の「シラバス作成のためのガイドライン」に沿って統一様式で作成している。記載項目の冒頭は、担当教員の実務経験と授業内容との関連性を含めた「授業の方針・概要」。そして「到達目標(学修成果)」、「卒業認定の方針と該当授業科目の関連」、「授業計画」へと続く。「成績評価の方法と基準」は、当学院の評価項目(授業態度・姿勢、試験、課題、検定試験結果、企業評価)を全科目統一表記し、科目に適した比率を表示している。他にも「フィードバック方法」「教科書」「オフィスアワー」「参考文献」の項目を設けている。以上シラバスは令和7年度より導入した教務管理システム(キャンパスマジック)で閲覧できるようになっている。</p> <p>【時期について】</p> <p>授業実施年度の前年11月～12月よりクラス担当の専任教員と非常勤講師で内容を検討する。専任教員は12月に、非常勤講師は翌年1月に依頼。専任教員、非常勤講師から提出された授業計画については、内容を第三者がチェックし修正等をして3月初旬に完成させる。4月初旬に学生はキャンパスマジックで閲覧でき、その後HPでも公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p><a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/creative/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/creative/</a></p> <p><a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/biz/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/biz/</a></p> <p><a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/tech/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/tech/</a></p> <p><a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/high/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/high/</a></p> <p><a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/adesign/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/adesign/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位授与は、学則第6章の規定に従い実施している。</p> <p>履修した授業科目は、担当教員が総合的に判断・評価する。評価項目には「授業態度・姿勢」、「授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)」、「期末試験・課題(プレゼンテーション含む)」があり、課題の制作だけでなく、プレゼンテーションを通じて自分の意見や考えを述べる事で理解度を測りながら複合的に評価をする。また、「外部評価・検定試験結果」も該当科目において評価基準としており、授業科目の内容により適切な方法で厳格かつ適正に評価する。評価項目の評点を合計し、100点満点における60点以上を合格としている。</p> <p>成績評価、進級・卒業判定の基準は学生全員に配布している冊子「Campus Guides &amp; Diary」、各授業科目の評価方法は「授業計画(シラバス)」に明記して学生に周知し、適切に運用している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価はSABCを合格、Dを不合格としている。</p> <p>その評価基準は以下の通りである。</p> <p>S(特に優れている): 100~90点</p> <p>A(優れている): 89~80点</p> <p>B(妥当と認められる): 79~70点</p> <p>C(合格と認められる): 69~60点</p> <p>D(合格と認められる最低限の成果に達していない): 59点以下</p> <p>本学では作品の採点の科目も多く、その場合には、「平均的な基準はB評価」とし、また、成績評価の際の評価項目を「授業態度・姿勢」、「授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)」、「期末試験・課題(プレゼンテーション含む)」、「外部評価・検定試験結果」の4項目に全科目統一することで、偏ることなく、適切に評価できる方法をとっている。その項目は「成績評価の方法と基準」としてシラバスに明示している。</p> <p>成績分布状況については、学生の成績の平均点により把握している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/m_act/evaluation/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/m_act/evaluation/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定のための必須科目の学科担当教員がシラバスに明記した方針に基づき、ディプロマポリシーに掲げる科別の教育目的に従って目標を定めている。服飾関係の専門的職業で活躍できる人材育成を目指して構成されたカリキュラムの必須科目の学修成果を評価し卒業認定を行っている。</p> <p>3年生以上の上級クラスの卒業制作の成績評価は、複数名の外部審査員を招きコンテスト形式でプレゼンテーションも含め、客観評価による認定を実施している。</p> <p>また、2年制の科においても卒業制作の成績評価は数名の外部審査員を招き、客観評価による認定を実施している。</p> <p>卒業認定については、「ディプロマポリシー」(称号付与の方針)に明記し、学生全員に配布している冊子「Campus Guides &amp; Diary」とHPに掲載し、公表している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/policy/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/policy/</a>

## 様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/</a>
財産目録	<a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/</a>
事業報告書	<a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/</a>

### 2. 教育活動に係る情報

#### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	服飾造形科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1775 単位時間/単位	185 単位時間 /単位	645 単位時間 /単位	1200 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2030 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		65人	3人	4人	17人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談を受け付ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	13人 (61.9%)	7人 (33.3%)	1人 (4.8%)
（主な就職、業界等） 製造業（光和衣料(株)、(株)おしゃれ工房）、小売業（(株)キャン、(株)三陽商会、(株)ベベ、(株)ナルミヤ・インターナショナル、(株)CANDY・A・GO・GO）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） 就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、フォーマルスペシャリスト検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64人	14人	21.9%
（中途退学の主な理由） 健康上の理由に続き、学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。 クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。 また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。2018年度から「退学・除籍経緯報告書」を実施しており、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えている。 毎年、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施しているが、問題のある学生には保護者との連携を密にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	アパレル技術科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2730 単位時間/単位	365 単位時間 /単位	685 単位時間 /単位	2340 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3390 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		20人	0人	4人	17人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談を受け付ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0.0%)	8人 (100%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） アパレルメーカー（㈱アズノウアズ、㈱オンワード樫山、㈱ワールド）、製造業（㈱辻洋装店）、小売業（㈱シッパス、ボックス㈱、㈱ヤマノホールディングス）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） キャリアプランニング（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、フォーマルスペシャリスト検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26 人	1 人	3.8 %
<p>(中途退学の主な理由) 健康上の理由に続き、学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。 クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。 また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。2018 年度から「退学・除籍経緯報告書」を実施しており、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えている。 毎年、1 年生には入学時と 11 月の 2 回、2 年生では 11 月に 1 回保護者会を実施しているが、問題のある学生には保護者との連携を密にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	ファッションビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1775 単位時間／単位	245 単位時間 /単位	1140 単位時間 /単位	510 単位時間 /単位	1895 単位時間／単位	
※2025 年度生は募集停止のため、授業時間数は 2024 年度実施の 1 年生分と、2025 年度実施の 2 年生分の合計になっています。							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		3 人	0 人	1 人	16 人	17 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 2. 及び 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照

学修支援等
<p>(概要) 担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。</p> <p>授業担当講師が学生の相談を受け付ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0.0%)	2人 (40.0%)	3人 (60.0%)
(主な就職、業界等)			
アパレルメーカー (株ビギ) 小売業 (株コーエン) など、ファッション関連企業			
(就職指導内容)			
就職ガイダンス (業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など) 就職個別面談 (就職相談、書類添削、面接練習など)			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、フォーマルスペシャリスト検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	1人	11.1%
(中途退学の主な理由)		
健康上の理由に続き、学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。</p> <p>クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。</p> <p>また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。2018年度から「退学・除籍経緯報告書」を実施しており、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えている。</p> <p>毎年、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施しているが、問題のある学生には保護者との連携を密にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	高度アパレル専門科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3900 単位時間/単位	320 単位時間 /単位	925 単位時間 /単位	2790 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			4035 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		27人	1人	4人	25人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2. 及び3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要）担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談を受け付ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0.0%)	6人 (100%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） アパレルメーカー（㈱ティー・シィー）、小売業（㈱サンズ・ホールディングス、㈱アーバーセー）、衣裳制作（㈱TEN10、MOCA）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） キャリアプランニング（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定試験、ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、パターンメイキング技術検定、フォーマルスペシャリスト検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	3 人	12.5 %
<p>(中途退学の主な理由) 健康上の理由に続き、学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。 クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。 また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。2018年度から「退学・除籍経緯報告書」を実施しており、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えている。 毎年、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施しているが、問題のある学生には保護者との連携を密にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	アパレルデザイン科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼夜	915 単位時間/単位	60 単位時間 /単位	165 単位時間 /単位	870 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	昼間		1095 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10 人		14 人	0 人	2 人	7 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2. 及び3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

<p>学修支援等</p> <p>(概要) 担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して自習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。</p> <p>授業担当講師が学生の相談を受け付ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0.0%)	15人 (78.9%)	4人 (21.1%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>アパレルメーカー（株オンワード樫山、株アイランド）、小売業（株アルページュ、株オッジ・インターナショナル、株オンデーズ、株キャン、株シティーヒル、株ハニーズホールディングス）、製造業（株ニエニ、株ビックママ）など、ファッション関連企業</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>進学課程のため検定等は既に取得済みの学生が多く、2024年度は新たに取得した学生はいなかった。希望する場合は洋裁技術認定試験、ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定を受験する事ができ、その際の学習サポートも行っている。</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	1人	5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>健康上の理由に続き、学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する医務室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。</p> <p>クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。</p> <p>また、授業科目ごとにオフィスアワーを設けており、授業担当教員に質問しやすい環境を整えることで、中途退学者の予防の強化に努めている。2018年度から「退学・除籍経緯報告書」を実施しており、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えている。毎年、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施してい</p>		

るが、問題のある学生には保護者との連携を密にして、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、退学の予防に努めている。

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
服飾造形科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
アパレル技術科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
ファッション ビジネス科	-円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円) 令和 5 年度に募集停止。
高度アパレル 専門科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
アパレル デザイン科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円実験実習費 85 千円 休学時在籍料(前・後期各 50 千円)
修学支援 (任意記載事項)				
<p>本学では経済的理由により修学困難な学生に対して、また志願者に対しては受験時に入学の際にかかる納付金納入の軽減措置として、以下の給付型奨学金制度を設けている。</p> <p>在学生対象: 杉野学園奨学金、杉野学園利子補給奨学金、杉野学園緊急奨学金            新入生対象: 同窓生特別免除制度(選考料免除)、杉野学園新入生奨学金、全国ファッションデザインコンテスト奨励金(本学主催による「全国ファッションデザインコンテスト」高校生 の部において優秀な成績を修めたもの)に入学金を免除している。</p>				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>(1) 規程の整備 本学院では、文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」に従い、平成 28 (2016) 年 4 月「ドレスメーカー学院学校関係者評価委員会規程」を制定している。</p> <p>(2) 組織体制の整備、毎年度の実施 「ドレスメーカー学院学校関係者評価委員会規程」に基づき、「学校関係者評価委員会」を組織して実施体制を整備し、平成 28 (2016) 年度より年 2 回学校関係者評価委員会を実施している。</p> <p>(3) 関連業界等からの委員の選任 学校関係者評価委員は、業界等委員 2 名 合計 2 名により編成している。</p>

(4)改善への取り組み 学校関係者評価により指摘された課題については、改善できる可能性の高い順に取り組んでいる。学校関係者評価報告書には、「課題・対策」の欄を定めここに改善の進め方を明記した上で活動し、PDCA サイクルを活用した改善を目指している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ファッションビジネス学会理事 コンサルタント会社経営者	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	業界団体委員
百貨店の社外取締役 コンサルタント会社経営者 百貨店の元代表取締役	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
<a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/hyouka/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/hyouka/</a>		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/</a>
--